



題字…今山政三郎氏

発行所  
新潟県小学校長会広報部  
新潟市中央区幸西3-3-1  
じょいあす新潟会館2階  
TEL 025-290-2231  
FAX 025-245-6060  
E-mail: nksgho@niigata-inet.or.jp  
印刷所 株式会社 文久堂



# 道標〜リーダーの矜持〜

新潟県小学校長会 会長

大野 雅人

衆目の「働き方改革」の急流は勢いを増し、流れに逆らうことやその波に乗り遅れることを許さない状況にある。世界に誇る我が国の初等教育の礎を築いた『昭和の小学校』の骨格を見つめ直し、「コンパクトな学校」を指向しなければならぬ。校長は、県下四百六十一の小学校の地域特性を大切にしながら、校務の不断の見直しや大胆な着想での業務改善を継続することで、校長とともに励む教職員に対し、「見えない未来」の学校像の道標を示す努力を重ねなければならない。

一方、国主導の教育再生の歩みがいよいよスタートした。小学校における新学習指導要領移行措置に基づく先行実施は、学校に対する大きな期待とともに厳しく重い負荷を課し、教職員に多くの課題意識を呼び覚ましている。文科省は、目の前の児童生徒が社会人として活躍するであろう「二〇三〇年」

をターゲットイヤーと称して、「知識・理解から資質・能力へ」、「コンテントからコンピテンシーへ」とのシフトをアナウンスしている。また、我が国の教育動向に大きな影響を与え続けているOECDも「Education 2030」なるプロジェクトの中間概要報告の中で、不確実性の中を歩む若者が、社会を革新し、未来を創り上げていくためのコンピテンシーとして、三つのカテゴリーを示している。今次の「生きる力」の捉え直しの道標として参考としたい。

今秋全県研究会に招聘する文科省 合田氏は、直近の行政説明の中で、現状の学校課題解決の突破口を『思想の転換』と表現した。教科書の中身をコツコツ教え込み、それにどれだけ習熟したかを追い求める営みを尊いとす『思想』があるとしたならば、そうした初等教育の営みを『転換』する道標を示すこと、それもリーダーの矜持である。

# 第七十八回県小代議員会

## 魚沼・小千谷大会

○平成三十年五月九日(水)

○魚沼市小出郷文化会館

本年度の県小代議員会は、新緑の季節を迎えた魚沼市で開催された。

### 一 開会式

新潟県教育委員会教育長池田幸博様はじめ、十二名のご来賓、代議員百四十二名、オブザーバー六十九名と本部役員等を含め、総勢二百五十名を超える参加者で開会式が行われた。

開会のあいさつで、大野雅人会長は次のように述べた。新潟市における二つの事件・事故を受け、小学校において最重要課題として取り組んできた児童の安全確保・児童の命を守る取組がこのような形で奪われることに無念さを感じている。小学校数の減少、学習指導要領の実施、働き方改革など、この先ここに集う会員のために改革の歩みを継続し、加速していきたいと考えている。そして、酒井田柿右衛門の「伝統とは新しいことを取り入れることである。守ることではない。」という言葉に触れ、「変わらないために変わらなければならない。」と力強く語り掛けた。

来賓祝辞では、新潟県教育委員会教育長池田幸博様が主要課題・施策を次

の三点から話された。

### ○学習指導について

一人一人の教育的ニーズに応じた指導・支援を基盤とし「主体的・対話的で深い学び」のある授業改善を推進する。

### ○生徒指導について

いじめをしない、許さない、命を大切にすることを醸成するために、道徳教育・特別活動・人権教育、同和教育に重点を置く。

### ○教職員の勤務勤務について

多忙化解消の取組強化と教職員の網紀の保持及び勤務規律の確保に努める。

次に、新潟市教育委員会教育長前田秀子様(代理・教育次長高居和夫様)から「学校に寄せられる期待や求められる役割がますます大きくなっていく。教育の更なる充実と教職員の長時間労働解消という一見相反する課題を解決していくためには、学校現場と教育行政が知恵を出し合い、地域や保護者と連携しながら社会全体で取り組んでいかなければならない。」との祝辞をいただいた。

続いて、地元を代表して魚沼市長佐藤雅一様から「子どもたちが豊かな自然とふるさとを愛し、ふるさとに誇りをもてる街づくりを目指している。魚沼市では平成二十二年度より、小学校五年生の尾瀬・奥只見での環境学習を実施している。また、平成二十六年度から教育委員会と教育振興会の協働事業で『温かい学級づくり支援事業』を実施し、学力向上と不登校発生率の低減に大きな成果をあげている。市をあげての取組は、校長のリーダーシップが重要である。」との祝辞をいただいた。

続いて、オブザーバーの代表として入広瀬小学校桑原一之校長へ大野会長より会章が授与された。これを受けて桑原校長が決意を述べた。

### 二 全体会

議長団として魚沼市立広神西小学校の川池雅樹校長、小千谷市立片貝小学校金子明子校長が選出された。初めに平成二十九年度第二回評議員会で承認された事項の報告があった。平成三十年年度の役員として会長に上越市立大手町小学校の大野雅人校長、副会長に長岡市立阪之上小学校の熊倉達也校長、新潟市立新潟小学校の吉田隆校長、理事十四名、監査三名、幹事等の会長委嘱の役員の就任が紹介された。

その後、議事に入り、各議案が提案どおりに承認された。平成三十年年度の活動方針・事業計画案で、大野会長は



活動の大綱について、長年取り組んできた「地域とともに歩む学校づくり」から「地域とのつながりを重視した教育活動の成果発信」

に変更すること、九つの重点事項の中から、「他者との協働」「働き方改革に向けた意識改革」「『生きる力』の捉え直し」について説明した。

さらに、大野会長より、魚沼・小千谷大会において大会宣言を行うことが提案された。大会起草委員長小千谷市立吉谷小学校の大野滋校長が宣言文を取りまとめ、提案し承認された。大野会長は「関係機関に配付し、私どもの決意を伝えます。」と述べた。

### 三 閉会式

開催地を代表して、実行委員長魚沼市立堀之内小学校の山之内方史校長が、十七名という少人数ではあったが協働して準備してきたことに触れ、関係者に感謝の意を伝えた。続いて、次期開催地を代表して新潟市小学校長会長浜浦小学校の政谷英樹校長が、魚沼・小千谷大会へのお礼と次期開催に向けての決意を述べた。最後に吉田隆副会長の閉会宣言で全体会が終了した。

# 対策部

## 〔提案要旨〕

### 一 活動の重点

「各市町村における教育関連予算等の拡充」に焦点を当て、各郡市小学校長会・政令指定都市小学校長会や関係機関等の協力を得ながら組織的な調査研究を行い、各学校や各郡市小学校長会・政令指定都市小学校長会の対策活動の参考となる資料を提供することにより、その運営に寄与する。

### 二 活動の概要

市町村における教育関連予算等に関する調査研究を報告書にまとめるとともに、資料編「小学校における各市町村の人的支援等の実態」を別に作成し、各郡市小学校長会及び政令指定都市小学校長会における予算要望等の参考資料として提供する。

#### (一) 調査研究内容

- 1 市町村教育委員会への問合せ調査
- 2 校長への調査
- (二) 調査研究活動

- 1 第一・第二調査研究委員会を設置した調査研究活動の推進

- ・調査内容の検討と調査の実施
- ・調査結果の分析・考察と報告書や

資料編の作成

- 2 郡市及び政令指定都市対策部の組織を生かした活動の推進

- ・郡市及び政令指定都市対策部と連携した調査・結果分析と考察
- ・郡市及び政令指定都市対策部代表者会の開催：十月二十三日（火）

### 三 調査研究内容の分担

- (一) 第一調査研究委員会「市町村教育委員会への問合せによる調査研究」

- 1 学校基本状況（学校数、学級数、児童数など）について
- 2 教育関連の各種人的配置人数について
- 3 「外国語科」への取組について

※ 資料編は、両委員会で連携を図りながら九月末までに作成・配付する。

- (二) 第二調査研究委員会「校長への調査研究」

- 1 特別支援教育の実態について
- 2 市町村予算による人的支援の現状について
- 3 市町村予算による人的支援への満足度と現状を補う対応について
- 4 「外国語科」への取組について

### 四 調査研究委員会の活動計画

- (一) 調査内容の検討会議：第一～三回
- (二) 分析・資料作成等：第四～六回
- (三) 次年度計画立案等：第七回

# 部会記録

# 福利部

## 〔提案要旨〕

### 一 活動の重点

厳しさを増す教職員の給与・処遇や退職後の再就職・再任用、及び福利厚生を巡る情勢に対処するため、更には政令指定都市新潟市への包括的権限委譲に伴う課題に対応するため、県中学校長会や全国連合小学校長会、退職校長会などと連携し、情報収集や調査研究を行い、関係機関等に要望する。また、その充実・改善に資する諸活動、ライフプランに関する学習を推進し、教職員の福利の向上に寄与する。

### 二 活動の概要

内部に三委員会を組織し、調査研究活動、要望活動及び福利厚生に係る情報提供を行う。

- (一) 県小学校長会として行う調査研究活動等

- 1 校長の給与実態把握と分析から、給与水準の維持向上を図るための要望活動

- 2 新潟県と新潟市の休暇制度等の差異調査

- 3 校長退職後の再就職状況等の調査及び再任用制度に係る実態把握と雇用促進のための要望活動
- 4 再任用・再雇用など、退職後の生活についての会員の意識調査

- (二) 県中学校長会等と一体となって推進する活動

- 1 県内福利関係六団体への要望の取りまとめと懇談会の開催、ライフプランに関する活動のための協議及び報告書の作成（県小学校長会主管）
- 2 福利広報「退職時の手続き一覧」の作成と配付（県中学校長会主管）
- 3 福利厚生関連事業への積極的参加や施設利用の呼び掛け
- (三) その他

- ・「調査研究活動報告書」の原稿作成と活動の振り返り

- (一) 三 調査研究委員会の活動内容・分担

- (二) 給与委員会

  - ・校長給与の実態調査や新潟県と新潟市の休暇制度の差異調査

- (三) 福利第一委員会

  - ・退職校長への再就職等の実態調査、年金制度に関する意識調査
  - ・郡市校長会での退職後の生活上に関する研修の実施の推進

- (三) 福利第二委員会

  - ・福利関係六団体への要望調査と懇談会の開催、六団体との協働によるライフプランに関する活動推進



# 研修部

## 〈提案要旨〉

### 一 活動の重点

学習指導要領への対応を喫緊の課題と捉え、地域の信頼を得る創造的な学校経営を展開するために、校長会研究集会を開催して研修を深める。

また、教育課程・生徒指導・同和教育の三委員会が調査研究や研修を行い、校長の資質・指導力の向上を図る。

### 二 活動の概要

#### (一) 校長会研究集会の開催

新学習指導要領に即応した研修に校長自らを取り組み、万全の準備ができる研修内容にする。今年度は外国語活動、外国語科の実施に向けた実践を持ち寄り、討議し合う。校長として「学校経営」の視点を明確にして進める。

#### (二) 第七十回関東甲信越地区校長研究協議会長野大会への参加

副主題「地域の自然・文化・人々の生き方に学び豊かな発想力・創造性や人間性を身に付け 自ら未来社会を拓いていく子ども育成」

(三) 第七十回全国連合小学校長会研究協議会北海道大会への参加

副主題「ふるさとの地から世界を見つめ 新しい社会の形成に向けて挑戦する子どもを育てる学校経営の推進」

#### (四) 委員会活動

##### 1 教育課程委員会

教育課程の実施状況や教育課程に関する諸問題について調査研究を行う。

アンケート及び聞き取り調査等から

「新たな知を拓き 人間性豊かな社会を築く 日本人の育成を目指す小学校教育の推進」の実情を探り、

各校の教育課程の改善・充実のための資料とする。

##### 2 生徒指導委員会

これまで、いじめや不登校、問題行動等の解消や未然防止を目指した「社会性の育成」をテーマとして、児童の実態や地域の実情に応じた創意ある取組について、広く調査研究を進めてきた。本年度もこれを継承し、生徒指導に関する実情について調査研究を行う。

##### 3 同和教育委員会

新潟県同和教育研究協議会の各種委員の選出と諸会議への出席、各種研究集会への参加態勢の確立などをとおして、同和教育を推進する。また、新潟県同和教育研究集会、部落解放新潟県研究集会、「いのち・愛・人権」展等、

同和教育に関わる各種大会に参加して研修を進める。

# 部会記録

# 広報部

## 〈提案要旨〉

### 一 活動の重点

会員の連携と学校経営の改善・充実に資するよう、県小学校長会及び各郡市小学校長会、政令指定都市小学校長会の活動や当面する諸問題に関する情報を提供するとともに、活動の記録として保管し、その活用を図る。

### 二 活動の概要

(一) 「初等教育」発行計画  
1 年一回の発行ゆえ、より質の高い機関誌に発展するよう創意工夫する。

#### 2 「校長会報」との連携を深め、記録性・資料性等に留意し、一層親しみのもてる機関誌とする。

3 有識者からの指導をとおして、会員の資質向上を図り、会員の研究・実践についても研修を深める。

4 新任校長は自己紹介があるので、他の原稿は依頼しないこととする。

#### (二) 「校長会報」発行計画

1 年四回の発行。(6・9・12・2月)

2 郡市・政令指定都市小学校長会の活動や研究校報告の様子等を紹介し会員の学校経営に寄与する。

3 「初等教育」との連携を図り、極力重なりが出ないように編集する。

4 執筆依頼は各郡市・政令指定都市校長会の推薦を原則とし、原稿提出の際もその確認を得ることとする。

#### (三) 「ホームページ」運用計画

1 県小学校長会の主な活動や大会記録、調査活動等、小学校長会の概要を広報する。

2 教育課題に対する提言や校長会報等、会員の取組を中心に掲載する。

3 教育関係者や県民、会員が容易にアクセスして情報を得られるようなホームページ構成を目指す。

4 全会員から最低一度はアクセスしてほしい。今後の充実、発展につなごっていく。

#### (四) 調査研究活動報告書の発行

1 県小学校長会の四つの専門部会の活動をまとめ、1月に発行する。

2 県及び政令指定都市への要望書を資料として掲載する。

### 三 情報交換

今年度も、各郡市広報部の活動状況について情報交換を行った。その中で校長会報誌について、上越、新潟、十日町・中魚地区から、全小学校長による随想執筆や誌面構成の工夫、会員の交流を深める伝統的な取組等の特色ある活動が紹介された。